

令和6年度 第2回美里地域会議 会議録

日 時：令和6年5月9日（木曜日）19時00分～20時20分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 健一、
小林 忠雄、清水 幸男、鈴木 智映子、豊田 博久、
中島 康隆、野村 耕一、濱野 敏子、松村 洋、丸石 敏憲、
望月 英光、森口 美代子、山本 由和、吉本 勝
＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、川瀬主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 令和6年度地域課題解決事業について

今年度に実施する「美里地区の公園等の活用に関するワークショップ」の日程について事務局が情報提供し、美里二区ふれあい広場を対象としたワークショップの見学者を募った。神池公園及び東山第5ちびっこ広場を対象としたワークショップについては、日程が決まり次第、情報提供する。

【美里二区ふれあい広場の見学予定者】松村会長、岡本委員、鈴木委員

4 提言に向けた動きについて

(1) 制度について（説明）

地域課題解決事業の流れと令和4、5年度の美里地域会議の活動について、事務局が説明した。

(2) 課題の探し方について（協議）

提言に向けて、美里地区の課題の探し方について協議した。

【結論】

令和4年度に実施した「美里地区のまちづくりに関するアンケート」を活用する。アンケートの回答の内、自治区等の取組により短期的に解決できる課題を事務局が除外し、次回会議の資料として送付する。

【意見】

- ・令和4年度に実施した「美里地区のまちづくりに関するアンケート」には、参考になる意見がたくさん書いてある。
- ・地域に存在する団体として、交流館で活動している団体がある。その団体に意見を聞いても良いのではないか。
- ・自治区の困りごとを市へ伝える機会はあるか。
（副会長回答）自治区長が市へ要望する機会がある。
- ・製造業は活気があるが、商業が弱いのではないか。豊田スタジアムを中心に人を集められる策を考える必要がある。

（会長回答）昨年度、総合計画の諮問の際に、市の考えを聞くことができた。今回の提言では、豊田市全体の話ではなく、美里地区の課題について考えていきたい。

- ・昨年度の地域会議で「地域住民の交流」について市へ提言したが、協議の最終まで残り、提言しなかった課題が3～4つあったと記憶している。それについて、もう一度協議しても良いのではないか。
- ・地域会議は、自治区やコミュニティ会議で取り組んでいる課題よりも、さらに解決困難な課題に取り組む必要がある。藤岡の路線バスの取組は良いと思った。防災や高齢化に対する具体的な取組が必要である。
- ・委員になるまで、地域会議がアンケートを取ったことも、そのアンケートに対する対応も知らなかった。令和4年度にアンケートに答えてくれた人が「書いても意味なかった」と思うことがないようにしたい。せめて、「自分の書いた意見は通らなかったけれど、地域会議の提言で『住民の交流』に取り組んでくれているんだ」と知ってもらえるように、伝える方法を考える必要がある。
- ・令和4年度に取ったアンケートは、区長会で全面的に協力し、実現できたものである。自治区は、公園の危険箇所点検や環境整備などで、引き続き協力している。地域会議としても、提言して終わりではなく、今後も現場を見ていかなければならない。

5 事務連絡

【次回】令和6年度 第3回美里地域会議

日時：令和6年6月13日（木曜日）午後7時～

場所：美里交流館 多目的ホール